

# 2019 年度活動計画書

## 〈基本方針〉

神奈川子ども未来ファンドはよりよい子どもの未来へ向けて「地域創造（創る）、架け橋（つなぐ）、醸成（担いあう）」という3つのミッションを遂行していきます。

## 〈活動重点テーマ〉

子どもたちが生きていくことに誇りと喜びを持てる地域社会を創るために、神奈川の子どもたちが置かれている現状を一人でも多くの市民に伝え、潜在的なサポーターの掘り起こしに努めていきます。そして、いじめ、子どもの貧困、児童虐待等子どもの課題に取り組む団体の活動を支援し、つなぎ担いあうコーディネート役割を果たしていくよう努めます。

また、今年度は神奈川県との「かながわボランティア活動推進基金 21」（基金 21）の協働事業として、子どもの貧困等支援の基盤づくりに取り組んでいきます。

## 1. NPO 助成事業

子ども・若者・子育てを支援する NPO 等への助成事業を実施します。

### (1) 2019 年度助成贈呈式・2018 年度助成報告会の実施

- 日時：2019 年 6 月 23 日（日）午後 2 時
- 会場：横浜中央 YMCA 9 階
- 内容：2019 年度助成 7 団体贈呈式／2018 年度助成 7 団体活動報告／交流会

### ① 2019年度助成選考委員

- ・ 委員長 北川 剛司氏 北川商事株式会社代表取締役社長
- ・ 委員 高取しづか氏 NPO 法人 JAM ネットワーク代表
- ・ 委員 西川 正 氏 NPO 法人ハンズオン埼玉常務理事
- ・ 委員 山口 明 氏 神奈川県労働委員
- ・ 委員 藤沖 彩 氏 神奈川県弁護士会子どもの権利委員会委員

### ② 2019年度助成団体

団体名	区分	事業内容 < >内活動領域	都市名	助成金額 (円)
生き×活き コミュニティ	一般	<居場所・コミュニティを創る事業> ひきこもりや未就労者等が、フラット 参加できるフリースペース（場）を提 供する	横浜	100,000

おっち一塾	一般	<地域で困っている子どもを支える事業> 地域ボランティアによる不登校児童・生徒への学習支援とコミュニケーション支援	横浜	200,000
NPO 法人 子どもと共に歩む フリースペース たんぽぽ	一般	<小冊子「何よりも命が大切！子どもたちからあなたへ」（仮題）の作成事業> 子育て家族と地域の交流を支援	横浜	200,000
NPO 法人 ひだまりの森	一般	<親子の孤立を防ぐステップアップ事業> 多様化するニーズに対応する新たな相談体制を作る（有料相談の実施・広報）	横浜	170,000
東戸塚 【キララの教室】	一般	<外国につながる児童への学習支援> 指導法の改善、受け入れ人数拡充を検討。10周年記念イベント、記念誌の作成・配布	横浜	120,000
NPO 法人 なまむぎ子ども食堂	課題	<こども食堂> 「楽しい会話が何よりのごちそう」をスローガンに運営。新たに学習支援事業を開始予定	横浜	130,000
みんなの場「てとてと」	課題	<困難を抱える家庭のための居場所事業> 簡単な食事の提供や各種講座とソーシャルワークによる支援を取り入れた居場所事業	相模原	100,000

(2) 2020 年度助成の募集・選考

○詳細未定

○2020 年度助成選考委員は助成募集開始までに理事会で決定する。

2. 会員・寄付の募集

(1) パブリック・サポート・テスト（公益法人として税額控除制度の適用を受けるための基準値のひとつ）をクリアするために年間 100 人の寄付者獲得に努める。

(2) 活動の理解者である会員の増加に努める。

### 3. 協働事業

(1) 「ピンクシャツデー 2020 in 神奈川」への取り組み。

カナダでスタートした多様性を認め合い、いじめストップを願う本アクションは、世界 70 カ国以上で様々な取り組みが行われている。子どもファンドが事務局を担い、2018 年開催した神奈川アクションにも多くの共感の声が寄せられた。2019 年 2 月のアクションには 38 の行政・企業・団体等の後援と 61 の企業・団体・個人の方々の協賛・協力があった。このように県や市と企業や団体、NPO、商業施設等が一体となつてのアクションは全国初の試みでもあり、神奈川モデルとして全国に波及する事業となることが予測される。子どもを見守る輪づくりの大切な機会として、今年度も取り組んでいく。

○取り組みの概要

- ・ピンクシャツデー神奈川推進委員会の事務局を担う。
- ・2 月をピンクシャツデー月間とし、キャンペーンイベントを開催する。（2 月 27 日予定）
- ・神奈川県との協働事業（基金 2 1）の一環として神奈川県域に広げていく。
- ・ピンクシャツデー 2020 in 神奈川の動画制作。

(2) 神奈川子どものみらい応援団への参加。

(3) 神奈川県との協働事業に取り組み、よりよい子どもの未来構築に寄与する。

①ワールドカフェの開催。（基金 2 1）

②つなぐ・支えるコーディネート機能の充実。

### 4. 啓発事業

神奈川県内の支援を必要としている子どもたちの現状と、子どもたちを支える団体の活動の様子を伝え、寄付支援の必要性を伝える事業を行います。併せて、神奈川子ども未来ファンドの活動を広報し、支援の輪を広げる事業を随時柔軟に展開していきます。

また、本年度は神奈川県との協働事業として、貧困等子どもの課題を共有する連続講座やサポーターの創出・掘り起しを図る子どもの未来応援団セミナーを開催していきます。

(1) かながわの子育ち・子育て応援プロジェクト

○つなぎ、広げる応援の輪

- ・ピンクシャツデー 2020 in 神奈川 ～いじめストップ！ワールドアクション～事業。
- ・ピンクシャツデー関連の動画を子どもファンドの HP で発信。

(2) 子どもの未来応援セミナー「子どもたちの SOS を受け止めよう」を 3 回に亘り、開催。

○担いあう応援の輪

- ・第一回「いじめの深層」（仮タイトル）  
開催日時／8 月 18 日（日） 2 時～17 時  
講師／未定
- ・第二回「子どもの貧困」（仮タイトル）

開催日時／9月29日（日） 2時～17時

講師／未定

- ・第三回「虐待の連鎖を止める」（仮タイトル）

開催日時／11月17日（日） 2時～5時

講師／未定

(3) 団体・企業等での「こどもの未来応援団」セミナーを開催する。

○創る応援の輪

- ・ワールドカフェの開催（基金21）

(4) 講演会や委員会への参加・協力

子どもファンドの理事、運営委員などファンドに関わる人材、ノウハウを活用して、必要に応じて講演会や委員会への参加・協力をしていく。

○各種審議会・委員会

- ・神奈川県子ども・子育て支援推進協議会
- ・神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議
- ・神奈川運輸支局バリアフリーネットワーク会議（国土交通省関東運輸局）
- ・横浜市ボランティアセンター運営委員

(5) 若者によるイベントチームの活動

- ・学生を主体とした若者たちとの交流を促進していく。

(6) 朗読劇『ハッピーバースデー』開催に向けての準備活動をしていく。

## 5. 広報事業

①WEBサイト（オフィシャルサイト、ブログ、ツイッター、フェイスブック）を運用し、逐次情報の充実を図るとともにファンドの会員層の拡大を計る。

②広報紙「ハンズ to ハンズ」を年2回発行し、会員への情報提供や拡大、寄付募集に活用していく。

③機会を捉えて積極的にメディアに発信していく。

④広報・普及用パンフレットの作製。（基金21）

## 6. ネットワーク事業

①活動への参加・協力を通じ、NPO、企業、商店街、行政等との連携促進を計るとともにファンドの意義や役割を広報、発信していく。

②子育て支援活動に関わるポータルサイトの開設に向けて、地域とのネットワークをより深めていく。（基金21）

③つなぐ・支えるコーディネート機能の充実

- ・ホームページ上に窓口を設置し、子ども支援活動とサポーターを「つなぐ・支える」コーディネート機能の充実を語る。そのためにも支援企業・団体・行政との共催事業に柔軟に対応していく。

## 7. 組織運営

### (1) 通常総会の開催

### (2) 理事会の開催

- ・組織の円滑な運営のために理事会を開催する。

### (3) 運営委員会の活性化

- ・活動方針等を見直し、子どもファンドの活動推進を担えるように充実を図る。また、理事会との連携を強化し、事業実施を担えるように賛同者を増やしていく。

### (4) 事務局体制の強化

- ・常勤職員を1名雇用し、法人の適切な業務を図る。